

(1) 国のデジタル田園都市国家構想基本方針（2022年6月閣議決定）

※デジタル田園都市国家構想基本方針の全体像より抜粋

【基本的な考え方～「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指して～】

- ・ 地方の社会課題を成長のエンジンとし、持続可能な経済社会や新たな成長を実現。
- ・ 東京圏への一極集中の是正を図り、地方から全国へとボトムアップの成長を推進。
- ・ 国はデータ連携基盤の構築など環境整備に積極的に取り組む。地方は目指す社会の姿を描き、自主的・主体的に構想の実現に向けた取組を推進。

【取組方針】

解決すべき地方の社会課題

- ✓ 人口減少・少子高齢化
- ✓ 過疎化・東京圏への一極集中
- ✓ 地域産業の空洞化 等

デジタル実装

地域の社会課題解決・魅力向上の取組をより高度・効率的に推進

■ デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

- ① 地方に仕事をつくる
- ② 人の流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 魅力的な地域をつくる
- ⑤ 地域の特色を活かした分野横断的な支援

- ハード・ソフトのデジタル基盤整備
- デジタル人材の育成・確保
- 誰一人取り残されないための取組

【進め方】

デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定（まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂）

<国> ※2022年12月23日策定

地方創生の基本的方向を定めた総合戦略を抜本的に改訂し、デジタル田園都市国家構想総合戦略を策定。

<地方公共団体>

目指すべき地域像を再構築、地方版総合戦略を改訂し取組を推進。

デジタル田園都市国家構想と総合戦略

(2) 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略 (2022年12月閣議決定)

※デジタル田園都市国家構想
総合戦略の全体像より抜粋

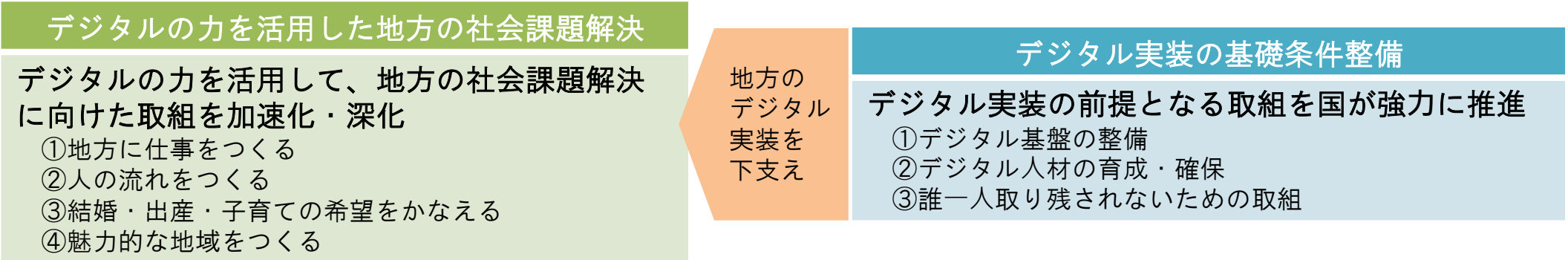
【基本的な考え方】

- ・ デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「**全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会**」を目指す。
- ・ 東京圏への一極集中の是正や多極化を図り、地方から全国へとボトムアップの成長を推進。
- ・ デジタル技術の活用について、各地域の優良事例の横展開を加速化。
- ・ これまでの地方創生の取組も蓄積された成果や知見に基づき改善を加えながら推進。

【総合戦略のポイント】

- ・ 国は、まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略を策定**し、KPIとロードマップ（工程表）を位置付け。
- ・ 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、**地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。**

【施策の方向】



<KPI> デジタル実装に取り組む地方公共団体：2024年度までに1,000団体、2027年度までに1,500団体

【地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進】

- ・ 地方が目指すべき地域ビジョンのモデルを提示。
- ・ 必要な施策間の連携をこれまで以上に強化しつつ、様々な施策をフル活用し地方の自主的・主体的な取組を支援。
- ・ 同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携し課題解決ができるよう、地域間連携の在り方や推進策を提示。

デジタル田園都市国家構想と総合戦略

(3) 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略策定を受けた地方の対応

国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の策定（2022.12.23）を受け、地方は、地方版総合戦略の改訂を求められている。

- ✓ 国の総合戦略を勘案して、地方版総合戦略を早期に改訂するよう努めること。
- ✓ 改訂にあたっては、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略に記載すること。
- ✓ 国の総合戦略の期間（2023～2027）を勘案しつつ、地域の実情に応じた期間を設定すること。

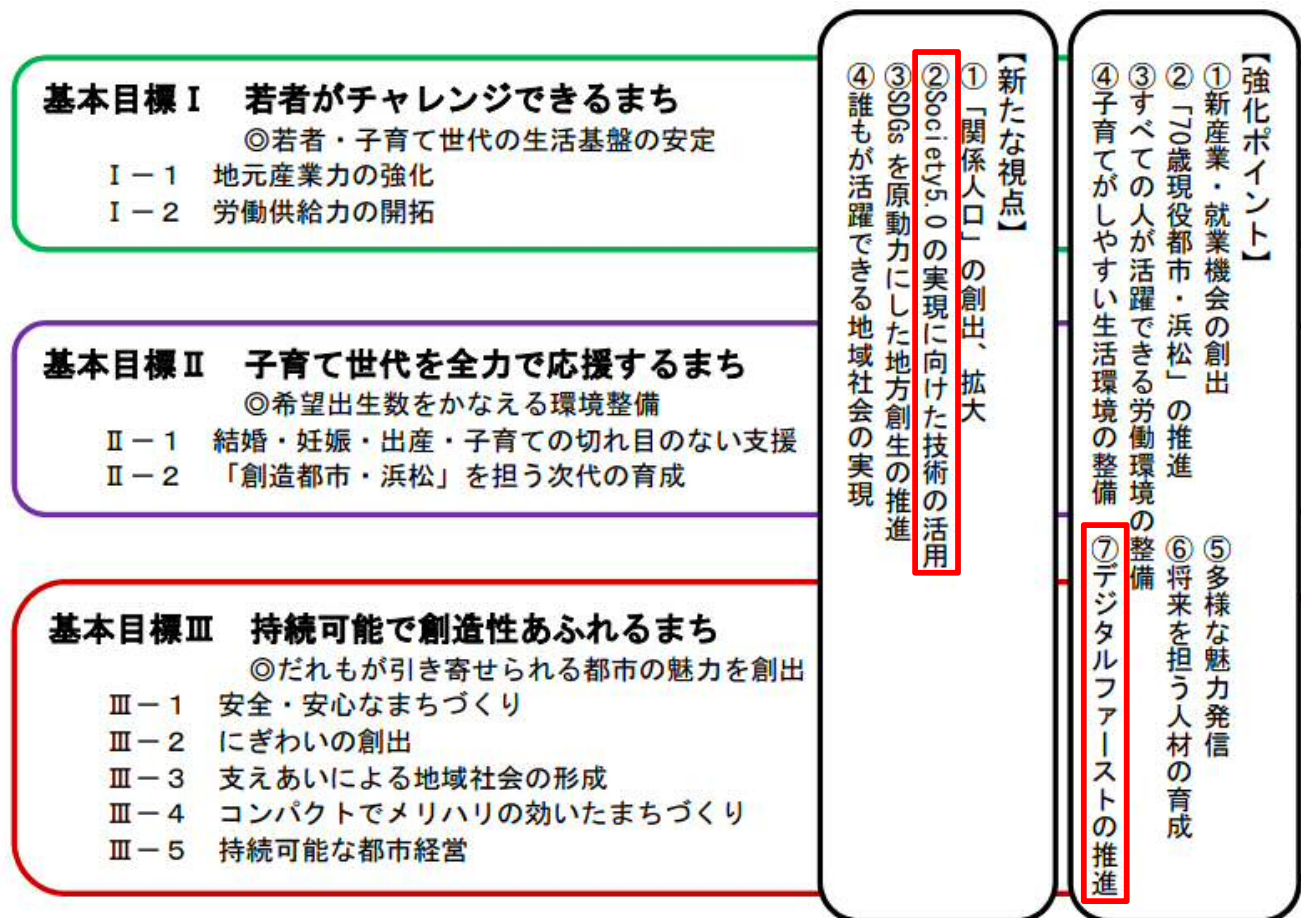
(4) 浜松市の改訂の方向性

「第2期浜松市“やらまいか”総合戦略（2020年度～2024年度）」の改訂は、現総合戦略の終期である2024年度末に実施する（2025年度を始期）。

- ✓ 2025年度の次期総合計画基本計画の改定にあわせて、地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）の再構築を実施する。
- ✓ 浜松市デジタル・スマートシティ構想の第一期（2020年度～2024年度）や浜松市DX推進計画（2022年度～2024年度）も同じ終期となることから、連動することでより効果的な改訂が可能となる。
- ✓ 現在の総合戦略には、第2期の改訂時に【新たな視点】として「society5.0の実現に向けた技術の活用」や【強化ポイント】として「デジタルファーストの推進」が導入されており、すでにデジタルの要素が盛り込まれている。

デジタル田園都市国家構想と総合戦略

(5) 現総合戦略におけるデジタル要素の記載（施策の方向性）



【新たな視点】

②Society5.0の実現に向けた技術の活用

- ・ICT・AI等の先端技術を活用し、デジタルファーストを推進することにより、生産性の向上、子育て環境や教育環境の向上を図る。
- ・デジタル技術、データを活用し、デジタルファーストを推進することにより、市民生活の快適化を図る。

【強化ポイント】

⑦デジタルファーストの推進

- ・デジタル技術やデータの活用により、市民生活の向上を図り、デジタル・スマートシティの実現を図る。
 - 「都市づくり」のデジタルファースト【都市の最適化】
 - 「市民サービス」のデジタルファースト【市民サービスの向上】
 - 「自治体運営」のデジタルファースト【自治体の生産性向上】